

**平成30年度 土木部
12月補正予算案概要**

**平成30年11月16日
福島県土木部**

補正予算の概要

- 1 復興・創生や緊急に措置すべき経費等に係る補正を行います。
- 2 その他、年間所要見込み等による補正を行います。
- 3 施工時期の平準化のため初年度支出ゼロの債務負担行為の設定を行います。

補正予算の規模

一般会計合計 1億1,563万円

●復興・創生関連経費等 4億9,051万円

●その他 △3億7,488万円

※初年度支出ゼロの債務負担行為^(*1)設定
(限度額 52億3,060万円)

*1：年度当初から着工出来るよう、工事前年から入札準備を行うことです。

主な事業内容

復興・創生関連経費等

- ・津波被災地域等の復興を支援するため、道路を整備します。

P.1

その他

- ・初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。

P.2

津波被災地域等の復興を支援するため、道路を整備します。

事業の概要

- 復興まちづくりを支援するため、原釜尾浜防災緑地の整備と一体となって、道路を整備します。
- 避難者の生活を支援するため、復興公営住宅へのアクセス道路を整備します。

◇復興交付金事業(道路)

[事業箇所]

- 事業箇所：相馬亘理線 原釜尾浜工区（相馬市）
- 事業費：93百万円

【補正の内容】

道路の年度内完成を図ります。



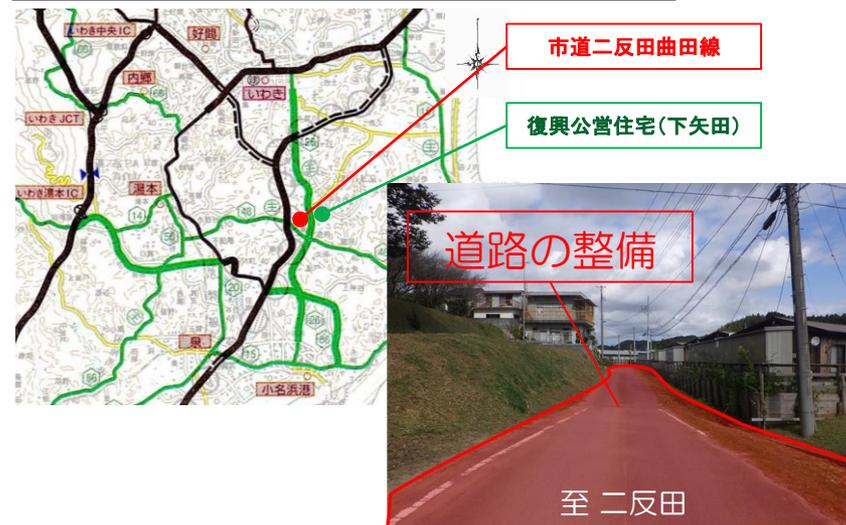
◇生活拠点形成交付金事業(道路)

[事業箇所]

- 市道二反田曲田線 下矢田工区（いわき市）
- 事業費：58百万円

【補正の内容】

復興公営住宅周辺の道路を広げます。



初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。

事業の概要

○初年度支出ゼロの債務負担行為を設定します。

限度額 52.3億円 (昨年度設定限度額 25.0億円)

- ①県単事業 限度額 30.8億円 (昨年度設定限度額 14.4億円)
- ②交付金事業 限度額 21.5億円 (昨年度設定限度額 10.6億円)

対象とする事業

次年度事業の契約を前年度1～3月に前倒しすることにより、年度初めの工事量確保による施工時期の平準化を図るため、以下に該当する工事等について、初年度支出ゼロの債務負担行為を設定するものです。

○会津地方など、積雪により施工期間が限られる豪雪地域において、降雪期前に工事を完了するために適正工期を確保する必要があるもの。

- ・国道252号（只見町）：雪崩対策工 等

国道252号
(只見町) →



至 新潟

○西日本豪雨を踏まえ、出水期を迎える前に河川合流部等の河道掘削を行い、洪水被害の防止を図る必要があるもの。

- ・阿武隈川（中島村）：河道掘削工 等

阿武隈川
(中島村) →



堆砂状況

○その他、施工条件等から、早期に着手する必要があるもの。